

第24回広域避難者支援ミーティング in 東京（クローズド）報告書

2024. 3. 7

広域避難者支援連絡会 in 東京 事務局

- 目的 コロナ禍での当事者団体の取組みを共有するとともに、コロナ禍が開けての今後の取組みについて当事者団体同士で情報を共有する。
- 日時 2024年1月30日（火）15時30分～16時40分
- 場所 飯田橋セントラルプラザ4階 都民連会議室／オンライン
- 参加団体 クローバーなります／ふるさと想う会／TCF (Tomioka. Connection. Fellowship) ／かながわ東北ふるさと・つなぐ会

○内容

- (1) 各当事者団体からの報告
 - ・コロナ禍での団体の取組みの状況報告
 - ・今後の取組みについて
- (2) 意見交換・質疑応答
- (3) JCNの今後について話題提供
- (4) 能登半島地震の話題提供



下記、(2) 意見交換・質疑応答の内容の概要

◎コロナ禍での団体の取組みの状況報告

- コロナ禍が開けて、定例会、定期的な集まりが開催されてきている。
- 広域避難者関連以外の団体と連携しながらの活動も増えてきている。
- 参加者の高齢化が進んでいてコロナ禍以前のペースでの取組みが難しいケースも。

◎今後の取組みについて

- 今後の活動については、基本的に例年と同じように活動したいと思っているが、検討する必要性も感じているケースがある。
- すでにいくつか具体的な企画を持っている団体もある。
いろいろなことを実施するのではなく、活動の方向性を絞って活動する団体もある。

◎活動資金について

- 助成金をあまり頼らずに活動している団体が多い
- 以前助成を受けて活動したが、数十万円ということもあり、全額を使いきれず返金したことがあった。その後はその助成金を申請できなくなってしまった。
- 小口の助成（5～10万円）が使いやすいかもしれない。

◎顔を見せなくなってしまった方への対応について

- 居住地に慣れてきてきたのか…。
- 個別に連絡が取れているのであれば問題ないかもしれないが。
声をかけ続けて、いつでも来ていいよ、という姿勢でいることが大事では。

以上